

あなんちょう

議会だより

どんど焼き 大下條小野



主な内容

- ◆ 新年のご挨拶 議長 栗生 勝由・・・2
- ◆ 12月定例議会・・・・・・・・・・3
- ◆ 町長のあいさつ、常任委員会・・・・・・・・4～5
- ◆ 一般質問・・・・・・・・・・6～12
- ◆ 議会の動き、編集後記・・・・・・・・12

第88号

令和4年1月30日



年頭あいさつ

議長 栗生 勝由

新年 明けましておめでとうございます。
新年を迎えるにあたりまして、阿南町議会を代表しまして、ひと言ご挨拶申し上げます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。厚く御礼申し上げます。

さて、未だ終息の見えない新型コロナウイルス感染症の影響は、わたくし達の周りにも大きな広がりを見せて、町民の皆様にも不自由な生活を強いることになってしまいました。町内では今年に入り感染者が増加しており、油断できない状況です。

阿南町議会でも国・県等への要望活動、あるいは研修会が徐々に再開されてはまいりましたが、制限を受けるなかでの議会活動となりました。十分な活動ができなかった一年ではありましたが、コロナウイルス感染症対策、災害対策、景気対策など町民の皆様にとって重要な事柄については、国・県あるいは町に対し意見書や要望書を提出し、町民の皆様の代表として、きちんと内外に働きかけて参りました。

また、議員発議による予算決算委員会の常任委員会化やコロナウイルス感染症、あるいは災害対策などに関わる町から提出された政策については、臨時議会などの開催により十分に検討もさせていただいた一年だったと思います。

令和4年につきましても、引き続き町民の皆様の生活を守り安心・安全で暮らせる、より良い環境につながるよう、まずは新たに常任委員会化した予算決算常任委員会による町の新年度予算の審議を皮切りに、今後の町の政策に対しきちんと町民の皆様のご意見・ご要望が反映できまるよう皆様の声をしっかりと伺いするなかで、より充実し活発な議会での議論に努めてまいる所存です。町民の皆様の変わりぬご支援について、新年を迎えるにあたり改めてお願い申し上げます。

結びにあたり、一日も早くコロナウイルス感染症が終息を迎え、本年が皆様にとって健やかで穏やかな年となることを祈念しまして、議会代表としての年頭の挨拶と致します。



第9回臨時議会

令和3年第9回臨時議会は、11月10日(水)開催された。

専決第2号

令和3年度一般会計補正予算(第5号)
943万8千円追加

総額

42億1,709万円

原案どおり可決

歳入 地方交付税
943万8千円

歳出 ケーブル修理代
943万8千円

歳出 ケーブル修理代
943万8千円

議案第48号

令和3年度一般会計補正予算(第6号)
9,814万7千円追加

総額

43億1,550万7千円

原案どおり可決

12月定例議会

一般会計 2億5,112万1千円追加補正
総額 45億6,662万8千円

12月定例議会は、12月10日(金)に開会。17日(金)に各常任委員会を開催して、12月23日(休)に閉会した。

条例案件7件

●議案第1号 議会委員会条例の一部を改正する条例について

●議案第50号 宮島昭夫基金条例について

●議案第51号 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

●議案第52号 国民健康保険条例の一部を改正する条例について

●議案第53号 町営住宅等設置条例の一部を改正する条例について

●議案第54号 町営住宅の管理に関する条例の一部を改正する条例について

補正予算案件7件

●議案第55号 令和3年度阿南町一般会計補正予算(第7号)

2億2,466万6千円追加
総額 45億4,017万3千円

原案どおり可決

(主な歳入)

地方交付税

8,741万6千円

新型コロナウイルス対策地方税減収補填特別交付金

1,135万7千円

新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金

510万1千円

510万1千円

751万円

●議案第56号 阿南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

1億1,953万2千円

●議案第57号 阿南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

17万4千円追加

7,017万4千円

●議案第58号 阿南町介護保険特別会計補正予算(第2号)

1億6,114万4千円追加

2億2,466万6千円追加
総額 45億4,017万3千円

阿南病院医師住宅建設費補助金

2,811万1千円

農業機械等導入補助金

722万7千円

水路修繕工事

535万1千円

まちづくりの活性化事業地元

510万1千円

510万1千円

重機借上料(クランギンガルテン整備)

150万円

●議案第59号 阿南町水道特別会計補正予算(第2号)

2億4,119万9千円追加

7,017万4千円

●議案第60号 阿南町下水

3億3,778万9千円

2億2,466万6千円追加
総額 45億4,017万3千円

阿南病院医師住宅建設費補助金

2,811万1千円

農業機械等導入補助金

722万7千円

水路修繕工事

535万1千円

まちづくりの活性化事業地元

510万1千円

510万1千円

道特別会計補正予算(第5号)

1億7,449万6千円

総額

1億8,449万6千円

原案どおり可決

●議案第62号 阿南町一般会計補正予算(第8号)

2億6,455万5千円

総額

45億6,662万8千円

その他2件

●議案第49号 指定管理者の指定について

●議案第61号 大島及び合辺地対策総合整備計画の変更について

予算決算常任委員会の設置

委員長 平松 三武
副委員長 石田 仁志

任期2年

●**コロナ対策** 全国の新型コロナウイルスの新規陽性者数は、昨年の夏以降で最も低い水準が続いております。これまで2年近くにわたり感染症対策にご理解とご協力を賜りました町民の皆さまには敬意と感謝を申し上げる次第であります。ですが、変異株の拡大・第6波の到来も懸念され、町民の皆さまにはこれまで同様、三密を避け、マスクの着用、手洗い、消毒など基本的な感染予防対策を徹底していただくようお願い申し上げます。

●**ワクチン接種状況** 12月1日からコロナワクチンの3回目追加接種が開始された。町は国の方針に基づき、接種日時時点で住民登録があり2回目を終え、8ヶ月以上経過した18歳以上の方へ3回目の追加接種を実施する。文化会館での集団接種は2月から実施。個別接種については各診療所と調整により決定次第、周知する。

●**コロナ感染症対策事業** 「あなんスマイル商品券」と「あなん応援食事券」は、各世帯への配布を完了。12月15日より使用開始。使用期間は今年2月28日(月)まで。

●**国の特別交付金・臨時特別交付金** 定例会において「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、「子育て世帯臨時特別交付金」と「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」を追加した補正予算案を上げ。両交付金ともコロナの影響の長期化による世帯を支援するもの。

●**障害者支援施設阿南学園** 障害者支援施設阿南学園は、昭和33年に精神薄弱児施設阿南学園として北條中谷地籍に開設され、昭和53年に北條川田地籍に移転。新しい阿南学園は、入所定員を80名から20名少なくとも60名、短期入所定員2名の障害者支援施設として、開所する。

●**町民バス実証実験** 本年7月から町民バスの運行便数を3台から2台に減便する実証実験を実施。今回の試験結果と7月から8月にかけて実施した実証実験に関するアンケート調査結果を基に協議会で検討し、1月よりダイヤ改正を行う。新しい町民バス時刻表を各戸へ配布。

●**遊休農地対策プロジェクト事業** 今後の遊休農地対策の在り方について検討を進めている。現在考えている方向性は、町内に複数の農業集団を形成、ある程度の水田耕作、農地の保全を担っていただく、いわゆる集団営農を考えている。

●**成人式の開催** コロナの感染急拡大により、8月15日から延期。令和3年度の成人式は令和4年1月3日開催したい。

総務産業建設常任委員会

12月17日(金)午前9時から協議会室に於いて開催。提案された案件について審議した。

主な審議内容

◎**議会委員会条例の一部を改正する条例について**

一、予算決算常任委員会11名・議長除く

◎**宮島昭夫基金条例について(寄附金)**

一、まちづくり事業活動に充てるため、また毎年基金として積み立て、額は一般会計歳入歳出予算に定める

◎**町営住宅等設置条例の一部を改正する条例について**

一、中谷住宅 1戸(宮島宅町へ寄附された住宅)

◎**令和3年度阿南町一般会計補正予算(第7号)**

一、町民文化会館のLED使用料 415千円

◎**目的は。**

◎**効率化を図るため。**

一、参議院議員選挙

◎**大下条投票所一ヶ所町民会館であるため、高齢者等不便を感じている。投票率を上げるための施策を。**

◎**選挙管理委員会と打合せ検討する。**

◎**一、農業機械等導入事業補助金**

◎**5,000千円**

◎**目的は。**

◎**農業振興を図るため。多くの申込みがあるため。**

◎**一、道路測量設計調査委託料**

◎**どこの地籍か。**

◎**柳沢一新阿南学園の町道8号線**

◎**見名一早稲田(堀割)の町道128号線**

◎**一、宅地災害復旧事業補助金**

◎**どこの地籍か。**

◎**平久地区**



町道128号線
見名一早稲田(堀割) 調査

社会文教常任委員会

12月17日(金)午後1時から協議会室に於いて開催。提案された案件について審議した。

主な審議内容

Q 宮島昭夫基金について、1,200万円ですタートするということか。

A 今まで入れて頂いた分と1,000万円を足したものである。

Q 町づくり事業にとあるが、具体的にはどのような事を考えているか。

A これからの町づくりに充てる。特定することはなく宮島さんの意志を確認して使っていく。

Q 個人的な名前の基金は初めてか。

A 寄附をしてくれる人はいるが、これだけの寄附は初めてなので名を残していきたい。

Q 国保の均等割について子供が多いと保険料が上

がり、不利であるため、国はこのような施策を行ってきたと思うが、今後、年齢を上げると国は考えているのか。

A 今後上げていきそうな気もしている。国保だけ被扶養者に対して均等割をかけている。他の保険制度と同じ状態とするようにと国の方へいたるところから上がっているため、今回この

Q ような改正になった。町営住宅を町民からの寄附により取得した。築25年の住宅料は、どのような設定か。

A この住宅は3DKで外に車を3台置けるスペースもあり、築25年経っているが、設備も整っているので住宅料のマックスで設定した。

Q みんなで支える里山事

業の補助金の減額理由は。

A 県の事業であり、昨年実施している。令和3年は手を挙げる町村が多く、阿南町には補助金が付かなかった。県事業ではできなかったが、町の事業として行っている。

Q 一般寄附金の内訳は。ふるさと納税とは別か。

A これは一般寄附である。

Q タクシー券の使い方を確認しておきたい。

A 5割補助から8割補助になった。町民バスを3便から2便に減らしたこともあり、買ってくれる人が多いので増額した。

Q 年齢、使用範囲に規制はあるか。

A 年齢の規制はない。利用区間は町内全域、町内から温田駅、町内から門島駅の区間設定はある。

Q 非常勤講師委託料はICTの講師と思うが、どこからお願しているのか。

A ICTの業者エートゥゼットからであり、ALT

もお願いしている。

Q 中学校費で、キャンセル料を支払っているが。

A コロナの感染が拡大し、修学旅行が県内になつたため、バスのキャンセル料が発生した。

Q 後期高齢者の特定検診検査委託料が大きく増えたが何か働きかけをしたのか。

A 後期高齢者は、国保の頃に定期検診を受ける習慣を持っていた方がそのまま移行して、検診を続けられているため、多くなった。今年は140人くらいである。

Q 水道特別会計において、繰入金を一般会計から行っているが、単なる持ち出しか、特別会計への交付金等のカラクリがあるのか。

A 基準値内とか、繰り出しはある。過疎債、簡水債など、交付税算入がある分については繰り出している。高料金対策等の給水単価等でも算入がある。基準値内

には入っている。

Q 特別会計だけで賄えているのか。足りないのか事務局はわかると思うが我々にはわからない。

A 水道については繰り出し基準9,300万円だが、9,500万円繰り出して、200万円は基準外となっている。これらを明確化することも大事だと思う。

Q 林道富草中央線は今現在どういう見通しになっているか。

A 調査が終わり、設計を組んでいる。設計が終われば、年度内発注ができればと思っている。



建設中の医師住宅



一般質問

一般質問は初日に8人が行いました。

議員名	質問事項	
伊藤 公市	1. 防災対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・町防災計画のより細かな具現化を ・避難所運営の考え方は
勝野 猶美	1. 進化する情報通信、デジタル化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・国の進めるデジタル化、当町のデジタル化対応 ・ケーブルテレビについて
金田 豊	1. 重要な産業である農業について	<ul style="list-style-type: none"> ・町のコメ作りの支援について ・水田のある風景は町の財産。景観維持が必要では
	2. 燃料費の高騰対策を	<ul style="list-style-type: none"> ・灯油が値上がりしている。様々な支援を
平松 三武	1. 商品券等の補助事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業における努力等について
	2. かじかの現状は	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料の高値をどうするか
石田 仁志	1. 第6次総合計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度総合計画の検証と翌年以降への反映はできているか ・まちづくり委員会の意見をどのように生かすか
	2. 産業振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・町内向け情報発信の提案(官民連携)
	3. 住民対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・住民に信頼される行政サービスを
金田 健介	1. 山村留学について	<ul style="list-style-type: none"> ・山村留学の現状は ・留学制度を生かすための道筋を
	2. 危機対応を重視した計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害等様々な危機を重視した備えを
	3. 事業継承の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・持続発展、事業と組織基盤を強化するための支援を
	4. 人口減少しないための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・人が人を呼ぶ町づくりを
村澤 博光	1. 佐々木忠綱氏の功績を後世に	<ul style="list-style-type: none"> ・西富士開拓について果たした役割の調査と発表 ・後世に伝えることが大切、資料館など
	2. 生理用品支給について	<ul style="list-style-type: none"> ・以前質問したが、検討後の具体的な取り組みは ・必要な方に支給できる制度を
	3. 化石燃料高騰を乗り越える	<ul style="list-style-type: none"> ・生活全般に及ぼす影響をどう見ているか
	4. 県道について、住民よりご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間の時間通行止めに対しクレーム、原因は ・阿南町の中でも舗装が一番悪い
藤澤 隆壽	1. 町長選挙	<ul style="list-style-type: none"> ・改選時、3期目の決意は
	2. 原油価格高騰に伴う対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯などへ灯油購入支援を
	3. 町内道路について	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止め等のお知らせ等、町民への徹底を行う際の状況 ・町内各路線表示の「名称表示ロードマップ」作成配布



伊藤 公市

問 防災対策の現状と今後

要支援者名簿の整備を行う

それ以外の方で避難に不安のある方は、チラシを全戸配布した上で、申込みのあった方について、要支援者名簿の整備を今年度中にやりたい。

◆**要望** 名簿の扱いは、個人情報が含まれているので、ご本人の同意重視の上で、平常時から活用していく予定。

◆**要望** 要支援者について、訓練、サポート等も当然必要になり、訓練等がかなり必要と感じる。いざというときにすぐ役に立つように、また訓練を重ねることに

よって生じる、様々な問題にも対応していただきたい。

●**伊藤** 避難所の運営について

●**総務課長** 現状は短期間での避難所運営とすることで、便宜的に便利な所で行っている。今後大規模災害の場合、

長期間となる可能性もあり、1つの避難所で全員で協力し運営していくことが大事だと考える。



災害避難所設営訓練 於：町民体育館

町では、各避難所に必要な事務用品、マニュアル等用意してあるので、そちらを使って運営をお願いしたい。

◆**要望** その場合、地域でのリーダーが必要になってくるのではないかと。人材育成も必要と考える。区長だけに任せではなく、そういう人たちの育成も町の対策として考えていく必要がある。

●**伊藤** 福祉避難所について

●**総務課長** 令和2年4月1日付で5法人8施設と協定を締結している。

実際の運営としては、町の対策本部から開設要請を各法人に行い、要配慮者の受入れをしていただくということになる。必要な費用については町が負担する。

◆**要望** いろいろな面でそれなりの工夫が必要になってくると思うので、福祉施設等と綿密な計画、打合せを。

●**伊藤** 災害ボランティアセンターについて

●**総務課長** 令和3年1月1日付で阿南町社会福祉協議会と協定を締結している。大規模災害時には、社協と協議をしながらセンターを設置する。社協が主体となつて運営を行い、町としては費用負担、情報提供等連携協力を行っていく。

◆**要望** 社会福祉協議会も経験があるわけではないと思うので、ぜひ準備段階で入念な打合せ等を。

●**伊藤** 災害廃棄物について

●**総務課長** 災害廃棄物の処理等に関する基本方針で

は、仮置き場候補地が2か所あり、これから土地所有者との詳細を協議し、協定等を締結して仮置き場として使用していきたい。協定

等が締結できましたら、計画を町民の皆さまへ公表します。仮置き場の運営は町職員とボランティア等で運営をしていく考え。



勝野 猶美

問 デジタル化社会への対応は

人材育成・組織化で対応

●**総務課長** 国はデジタル技術を社会に更に拡げる事としており、「DX」とはその概念を示すもの。

自治体では住民基本台帳など基幹業務を標準化、共通化を図る。またマイナンバーカードを使ってオンライン化と、子育て支援、介護等生活の利便性を高めるとしている。

●**勝野** 国はデジタル庁を発足、推進を図っている。デジタル化、「DX」とは。自治体に求めるのは、

我々住民の生活はどう変わるのか。

●**勝野** この例からも既にデジタル化が我々の生活の中に浸透している事が分か

る。

る。

当町として当面の対応、その原資は。

■**総務課長** 国の方針に沿って基幹業務の標準化、オンライン化等を進める。国からは補助金が支給される。

●**勝野** マイナンバーカード取得率が低いと聞いているが、メリット周知と不安払拭努力を。

■**総務課長** 現在の取得率は23・1%で県下で下から3番目。

マイナンバーカードはデジタル化の目玉、これを使ってオンライン手続きを可能にする等、今後使い道が多いと言われているが、現在はまだ具体的場面がない。4年度中に全員取得を目指しており、状況を見ながら対応。

●**勝野** 役場内のリモートワーク、ペーパーレスの現状は。例として議案書のペーパーレスを。



デジタル社会の子供達

■**総務課長** 当町の対応として、公共施設へWiFi設置、オンライン会議等を導入。議案書についてはタブレット使用が使い勝手が良いと考えるが、議会と共

に検討していきたい。

問 CATVの保守は

●**勝野** CATVの自主放送が長期間停止した。その理由、保守の現状は。

■**総務課長** 機械導入後10年以上経過。老朽化により故障、部品もなく修理が出来なかった。現在は新たに導入予定、その間借用品で対応中。

■**町長** 財政絡みで壊れるまでは使おうとしてきた。反省すべきと考えている。

●**勝野** 自主放送の停止が大きな問題にはならなかった。存在意義が問われる。双方向化等を含め、充実を。

■**総務課長** 双方向化を検討した事もあったが、コスト高で断念した経緯あり。今後進歩し、そうした時が来ると予測するが今は考えていない。

問 デジタル化推進の専門チームの設置を

●**勝野** 町内企業、住民等に「DX」を十分に享受できる支援策を。またデジタル関連企業の誘致を。

■**総務課長** 技術者の人材確保が非常に厳しく、技術的支援は難しいが、情報とを伝える事は実施していきたい。企業誘致も研究していく。

●**勝野** デジタル化の研究推進の専門チーム、部門の設置を。また人材育成を。

■**副町長** 国、県も専門部

門を、飯田市も推進課を設置し推進している。当町に於いても専門チーム、部署が必要。デジタル化は住民福祉に資すると考え、積極的に取り組まなければと認識している。どうすべきか精査し、人材育成を含め組織化をしていく。



金田 豊

問 米づくり支援を

今後生産量を確保する

●**金田** 米価が下落している。ふるさと納税返礼品の

コメのお値打ち感がなくなってしまうのではないかと心配。

■**振興課長** 今年は不作で町内の生産量を考え、3257俵分の1億4490万円でふるさと納税を打ち切った。

●**金田** 米余りで在庫がだぶついているのに、ミニマムアクセス米を7万トンも輸入を続け、減反を強化しているが、輸入はやめるべき。

■**町長** 私もそう思うが、国内の物を売り、海外の物を買わなければ名がない。どこにウエートを置くかだと思つ。

●**金田** アトムでのコメ作りは終わりのない最後の手段だったのではないか。継続していつてほしい。

■**副町長** このままでは一般財源をいくらかでも投入し続けなければならぬ。アトムを中心とした集落営農を進めていきたい。

問 燃料費高騰対策を

●**金田** 灯油が値上がりしている。高齢者などに福祉投与の支給を求める。長野県内でも多くの自治体が対応している。

■**副町長** 一人2万2千円の商品券を全町民に配っている。これで灯油も買っていたきたい。

●**金田** 学校保育所での暖房費は予算を追加して手当てをしたが、福祉施設などへの支援も考えてはどうか。

■**副町長** 今のところ要望はない。

●**金田** 化石燃料から自然エネルギーへの転換で、まきストーブなどを推進すべき。

■**環境課長** 太陽光発電への補助を出している。



燃料費支援を



平松 三武

問 商品券等の補助事業について

事業実績にかかわらず報告する

●平松 町民に配布された商品券等手厚い補助事業について、10月号の町だよりに掲載してあると言われるが、もっと分かりやすいように。

■総務課長 広報あなんに掲載し、実績をお知らせしたが、次回からは分かりやすく、事業実績にかかわらず、報告したいと思う。

◆要望 せっかく使ったお金も、どのくらい援助して

いたのかなど、分からないようでは悲しいこと。皆さんが頑張った成果はこうだよと言える形にしていきたい。

●平松 151号は10年かかると言われたものを、町長の努力により3年まで縮め、20数億円もの予算づくりに成功され、来年には完成されることとなった。他県道等は。

■町長 かなり先の予算を獲得した。箇所数も多くあるので、最終日に具体的に予算を上げたい。



改良中の151号

問 かじかの現状は

●平松 燃料高騰による経営状況はどうか。

■振興課長 燃料の高騰は、政府の見解でも高止まりの傾向で、来年までまだ

続きそうだが、かじかの湯は、緊急事態宣言が解除され、入湯客は通常の6、7割まで回復した。かじか亭食堂が5割、宴会は1割程度の売上が落ち込んでい



石田 仁志

問 総合計画の検証は

補正予算ですばやく対応していく

●石田 令和2年度総合計画の検証は、翌年に反映されているか。まちづくり委員会の皆様に、年度毎に検証をお願いしているが、検証が3年8月で半年も経過しているが、翌年に検証結

る。まだまだ厳しい状況。シダックスは、当面の間、光熱水費も少し節約しながら、経費等削減して、さらに新たな売上の増加策も検討を進めている。

果を反映されるとあるが、大変効率が悪く、時間的ずれにより、4年度にしか反映できないと思うが、どのように捉え、改善されるか。

■総務課長 検証スケジュールについては、5月をめどに各課の担当課において効果検証、6月に理事者のヒアリング及び今後の方向性の調整、8月にまちづくり委員会を開催して、検証結果の説明、9月全員協議会にて議会説明したところである。

●石田 令和2年度総合計画の検証は、翌年に反映されているか。まちづくり委員会の皆様に、年度毎に検証をお願いしているが、検証が3年8月で半年も経過しているが、翌年に検証結

果や頂いた意見の内容により、予算化が必要なものについては補正予算等で素早く対応していく、柔軟な対応は必要である。

◆要望 令和2年度もそうだが、達成率が50、60というような数字でもあり、ではなぜそんなのかというのが検証するのが委員会を置いてある意味だと思う。検証されていることをしっかりと吟味して翌年に生かしてほしい。

●石田 今回の検証はコロナにより書面提出となった。各委員の意見を共有し議論を深める等、いただいた意見をどのように生かしているか。

■総務課長 頂いた意見の内容により早急な対応、補正予算で対応などしている。

●石田 まちづくり委員は各業界の方16名にお願いしているが、毎年半分の方が入れ替わる。計画の中身を十分理解してもらうように説明等を行っているか？

■総務課長 代わられた委員がいる場合には、総合計画の概要版を送付したり、一定程度電話で説明をしたりとかした上で検証会議に出席していただいている。

問 産業振興について

●石田 町の事業者が宣伝やイベント情報をケーブルテレビ文字放送等、積極的に利用できる体制づくりを。

■総務課長 今後検討していきたい。

◆要望 頑張っている皆さんを支えるには、商工会との連携、町として何をしなければいけないか。課を超えた連携をするなど、実施したらどうか。

問 住民対応について

●石田 住民に信頼される行政サービスの提供を。

■総務課長 職員の資質向上の面で、基本的な部分はまだまだだと感じている。

◆要望 意識改革、まずは上に立つ方の意識改革が必要と感じている。下の意見を吸い上げるような、普段からの行い、対応を。

それから住民との交流を深め、もっと信頼される役場でなければいけないと思う。



金田 健介

山村留学について

教育を受けられるよう整備をする

●金田 山村留学の現状は。

■教育委員会事務局長 町

内の学校は小規模で、生徒児童も少なく、それによって先生も少ないという状況で、負担が大きくなるというリスクは避けられない。町費でもって支援員を増やしたりして、何とか子どもたちのために励んでいる現状。

また国の示すGIGAスクール構想というところで、

日本中どこでも同じ教育を受けられるように整備をしている。

◆要望 中山間地にも、オンライン学習の基盤が整備されれば豊かな自然環境の中で暮らし、学びながら国内の他地域とも連携出来ると思う。地域が細れば活力が失われる。山村留学制度から距離を置いてきた教育委員会も地方創生の視点で地域と協働で子育て世代の関心を集めている留学制度を生かすための道筋を開いてほしい。

危険対応を重視した計画を

●金田 新型コロナウイルスの感染、自然災害の激甚化、人口減少の進行と、様々な危機への備えを重視した備えが必要では。

■総務課長 町としての対応は、基本的には国や県からの情報収集と助言、これを基に対応等をしている。

町独自の取組としては、各地区にて防災に関する区

長会を行う、また物の関係としては非常食や飲料水、簡易ベッド、避難所生活に必要な簡易トイレと敷材、N95マスク等用意している。

事業継承の支援

●金田 農商工業の高齢化、担い手不足が止まらない中で、事業継承支援の重要性が高まっている。地域農、商工業の維持発展のため、支援を加速する必要があるのでは。

■振興課長 農業の担い手支援は、信州アトムで研修しながら支援を受けることができる県の制度、国、県、JAでしっかりした制度があるので、それらを利用いただけるように、連携を密にしながら、町のほうでもサポートできるように、現在の体制を堅実に継

承していききたい。商工業についても、事業継承の県の補助制度を活用できるような積極的に紹介していききたい。

いすれにしても商工会にも十分協力いただき、意見を頂きながら、必要と判断する場合は、補助制度の内容をこちら柔軟に変更し、迅速に対応する。

人口減少しないための方策を

●金田 人が人を呼ぶ町づくりをしなければだめだと思う。イベントを開催する等、人を増やす、ファンを



信州アトムー地域農商工業維持発展と支援を強化する

作ることが大事だと思うが、町の考えは。

■総務課長 その一番基礎的なこととして、地域の移住推進団体というものが

2つある。和合地区は「和合元気なむらづくり協議会」、新野地区は「新野から元気にしまい会」。これは町としても定期的に担当



村澤 博光

佐々木忠綱氏の功績を後世に

西富士開拓の歴史を公民館報で

●村澤 佐々木忠綱氏の功

績を後世へ伝えていくこと、それを学ぶ場の提供も含め語り継いでいくことが大事との思いです。佐々木氏の西富士開拓について調査、発表があまりなされていない。教育委員会の方針は。■教育委員会事務局長 西富士開拓についてですが、教育委員会にも住民の方からこの事実を広く後世に伝えるようにお話が来ている。しかし、教育委員会だけでは資料が不足であり、住民の方のご厚意、ご協力により、貴重な資料を提供頂いております。今後、これらの資料を基

に、西富士開拓により大変なご苦労をされた歴史をまずは公民館報で紹介をさせていただきたいと考えている。

問 ジェンダー平等の観点、生理用品無償配布を

●村澤 女性だけが、何十年間生理用品の費用がかかっている。内閣府も女性支援交付金拡充で生理用品の無償配布を後押し、町もやるべきでは。

■教育委員会事務局長 7月20日現在、全国で581団体が検討中という。

●村澤 女性の方への生理用品支給について、その後の取組を。以前子どもが安心して生活できる環境を整えるのだと検討すると回答があった。性教育の問題等、具体的にどういったような方向で取り組んでいるか。

■教育委員会事務局長 小

中学校全校において保健室で生理用品のほうを準備。学校生活上で必要になったときには対応できる状態は整えている。困ったときには保健室に相談に行くようにどういって周知をしている。

性教育にはそれなりの授業項目があり、その中でやっている。

即事業を導入しないとならないという内容。現段階では財源的に厳しいという点で一旦保留にした。国の補助制度の動向等を見極めながら、ボイラー導入等の検討を進めていきたい。

●村澤 木を熱源にするスートプとかボイラー設置について、町は助成をするような方向は考えられないか。

■振興課長 企業や事業者の皆さんの導入であれば、既存の補助制度の中で助成が対応できる部分も場合によってはあるのではないかと考えている。

●村澤 かじかの湯の木質バイオマスで運営が成り立つか検討、その結果はまだお知らせしますということでしたが。

問 化石燃料高騰、かじかの湯木質ボイラー設置を

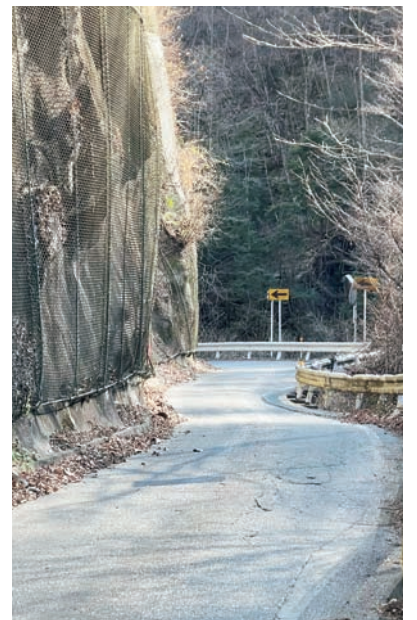
●村澤 個人の方への現状、スートプ、ボイラー等の補助制度はない。

問 県道通行をスムーズに

●村澤 深沢阿南線の工事が完了しないのに、休工、新たに時間通行が始まった。原因は。

■建設環境課長 のり面防

災工事が非常に全国的に多



狭隘ヶ所対策を



藤澤 隆壽

問 町長選挙3期目の決意は

2期8年で悔いなくやり遂げた

●藤澤 町長の2期目(現在は)はコロナ対策ワクチン

接種を他町村に比較して計画通り実施、危機管理の整備、各企業との交流、第6次総合計画の策定、社協改革、阿南学園の建設、国会・県会議員との良好関係等、多くの実績を認めます。また、今後の主な課題は水道老朽化に伴う整備、インフラ整備、人口減少、子育て支援、荒廃地及び農業振興等多くの施策があり、体力的、精神的、年齢等充実しており、現在町民が継続を望む声があるが、決意は。■町長 2期目は最後まで思いで全力投球、行動力をもって悔いなく終える覚悟で日々行政運営に当たってきました。自身でやり遂げなければならぬと決めたことは、全てやり遂げたと考えている。2期8年の仕事に対し何の悔いもなくやり遂げた。年齢を鑑みるにさらにもう1期努力して挑戦しようという気持ちが優先するかという不安が残る。今現在はこの想いで

議会の動き

- 10月** 7日 長野県町村議会議長会（議長・川上村）
 25日 長野県町村議会議長会（議長）
 飯伊市町村議会議員研修会（下條村）

- 11月** 1日 国道418号期成同盟会要望活動及び
 県境域開発協議会提言活動（議長）
 2日 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
 長野県連絡会議総会（伊那市）
 4日 三遠南信サミット
 5日 議会運営委員会・全員協議会
 8日 南部総合事務組合議会
 10日 第9回阿南町議会臨時会
 11日 南部議員会県要望（議長）
 16・17日 国会議員提言活動（国会議員会館）
 18日 南部議員会県要望（議長・県庁）
 19日 長野県町村議会議長会 県への要望
 （議長・長野市）
 24日 租税教育推進協議会総会（議長）
 25・26日 長野県町村議会議長会国会議員等への要望
 （議長・全国町村会館）
 26日 第65回町村議会議長全国大会
 （議長・明治記念会館）
 27日 開窪地区直轄地すべり対策事業着工式（議長）

- 12月** 2日 議会運営委員会・全員協議会
 3日 長野県町村議会議長会（議長・長野市）
 10日 第10回阿南町議会定例会
 11日 阿南学園竣工式
 15日 県建設部田下部長意見交換会
 17日 総務産業建設・社会文教常任委員会
 20日 愛知・長野県境域開発協議会による愛知県・
 中部地方整備局要望活動（議長・愛知県）
 21日 南信州広域連合議会議員情報交換会（飯田市）
 23日 12月定例会 開窪視察
 27日 農業振興地域整備促進協議会
 阿南高協力会臨時総会

明けておめでとうございませう。
 昨年、一昨年とコロナにより議会も思った以上に行動出来ませんでした。今年
 は町民の皆様との交流、懇談の場を増やし、行政に反映させていきたいと思いま
 す。
 町民の皆様と一緒にまちづくりと謳われておりますが、少子高齢化対策、人口減少が厳しい現状です。議会と行政の連携の見せどころです。今年も頑張りませう。

編集後記

問 原油価格 高騰に伴う対応

● 藤澤 同僚議員が同内容の質問をしましたので、答弁はその内容で理解しました。他、第6波が波及した際は、今まで同様の支援を考えていただきたい。

問 町内道路の名称を

● 藤澤 町内道路の名称を

を、通行止め等のお知らせで町民への徹底を行う際、状況をわかりやすく理解できる様、町内各線表示のマップ作成を各戸へ配布も。また、各路線に標識(何号線入り)の設置を。

◆ 要望 副町長が言われたように、区の家のことだけ考えるのではなくて、町全体のことを考えた中で必要だと思つ。前向きな検討を。

■ 建設環境課長 通行止めの申請を受けたら、防災行政無線とケーブルテレビ、ホームページの3つで周知している。

■ 副町長 通行止めや、片側通行になる場合には、広報等、また各区、組合、組合回覧をしている。区内等には周知を必ずするようにしているが、それでも足りない場合は、別の方法等も考えてやっていきたい。



町道にも標識看板設置を！